

バンク オブ アメリカ(BAC)

【セクター】 銀行

信買

【市場】 NYSE

信売

【企業概要】

米銀行3強の一角で、米国の預金額シェアはJPモルガンチェースの11.2%に次ぐ10.0%です。2009年に投資銀行のメリルリンチを買収して証券・投資銀行にも進出しました。2022年12月期の部門別純利益構成比は、コンシューマーバンキング（消費者向け金融サービス）41%、グローバルバンキング（法人向け金融サービス）23%、グローバルウェルス&インベストメントマネジメント（資産運用）23%、グローバルマーケット（機関投資家向け証券サービス、投資銀行）19%、その他-6%です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

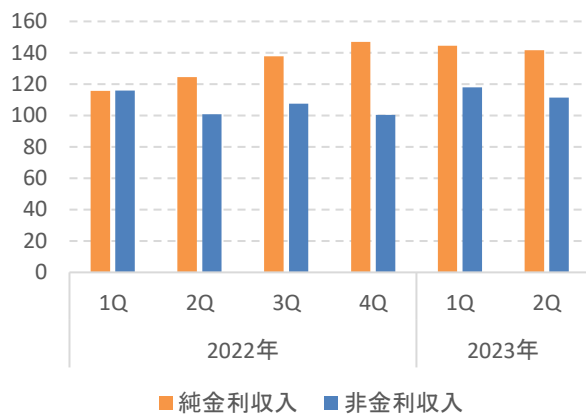
決算期	営業収益	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.12期	93,851	30,729	3.59	0.78	30.4	12.4	8.6
22.12期	115,053	26,947	3.30	0.86	30.6	10.6	9.0
23.12期（予）	101,187	27,394	3.39	0.93	33.1	10.5	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

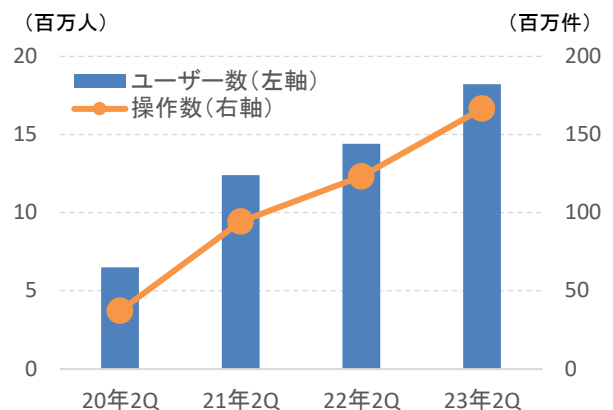
【主要指標】

純金利収入と非金利収入（億ドル）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

AI搭載仮想アシスタント「Erica」



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

足もとの収益について、純金利収入は長期金利の上昇を受けて回復していましたが、預金金利に上昇圧力が生じて2022年10-12月期からピークアウトしつつあります。一方、パンデミック時に大きく伸びた証券・投資銀行業務は、四半期ごとに増減を繰り返していましたが、底入れから改善に向かう兆しがみられます。中期的には、規模の優位性を生かしていずれの部門においてもデジタル投資に積極的なことが注目されます。消費者向けサービスでは、AIを搭載した仮想アシスタント「Erica」を2018年からモバイル顧客向けに提供しています。ユーザー数と操作数は順調に伸びており、2023年4-6月期にそれぞれ182万人、1,665万件に達しています。

【見通し・注目点】

4-6月期の営業収益は前年同期比11%増、調整後EPSは同21%増で、いずれも市場予想を上回りました。純金利収入は長期金利の上昇を受けて前年同期比では14%増、1-3月期との比較では預金金利の上昇圧力を受けて利ざやが縮小して2%減でした。非金利収入はトレーディング収入の増加が投資銀行、ブローカー手数料の減少を相殺して前年同期比8%増でした。CEOは、「幅広い業務にわたってオーガニック成長が続いている」と自信を示しています。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。